

平成26年度第4回さぬき市行政改革推進委員会 会議要旨

日時	平成27年3月12日(木)9時～10時10分
場所	さぬき市役所4階 第2委員会室
出席者	<p>[委員] 計12名 奈良委員(会長)、金本委員(副会長)、石塚委員、入野谷委員、植木委員、宇山委員、木村委員、佐藤委員、高嶋委員、藤井委員、真鍋委員、頼富委員</p> <p>[事務局] 計2名 総務部政策課:向井課長、原田係長</p> <p>[傍聴者] 0名</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事 (1)次期行政改革実施計画について (2)行政改革に関する提言書について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配布資料	<p>・次第</p> <p>・資料1 さぬき市行政改革実施計画(平成27年度～平成30年度)(案)</p> <p>・資料2 行政改革に関する提言書(案)</p> <p>・資料3 さぬき市行政改革実施計画(平成27年度～平成30年度)(素案)に関する意見募集結果</p>

<内容>

◆次期行政改革実施計画について

前回会議時の意見を踏まえて修正した主な点を説明。

◆質疑・応答及び意見交換(○:質問 ⇒:回答 ◎:意見・提案)

OP9の「①-9 観光収入の確保」であるが、主要な観光地の外国語表示や観光キャラバン隊の創設、国際交流協会の結成、観光ガイドボランティアの募集などといった外国人観光客を対象とした個別的な取組を入れることはできないか。

⇒個別に盛り込むのは難しいが、外国人観光客を誘致する取組みの推進といった形で盛り込んでいきたい。

OP21の「子育て支援コンシェルジュ制度の導入」であるが、コンシェルジュという表記を分かりやすく変えてどうか。

⇒国の子ども・子育て支援新制度に基づく名称ではあるが、再度検討させていただく。

○合計特殊出生率を数値目標に入れることはできないか。

⇒人口減少対策については、現在、まち・ひと・しごと創生ということで、人口ビジョンや総合戦略を策定する予定としており、その中で現状分析やアンケート調査などにより抜本的な対策を検討していくこととしていることから、本実施計画の中で合計特殊出生率の数値を盛り込むことは難しい。

○本実施計画は誰が行うのか。

⇒個々の取組については職員や所管課が行うこととなるが、計画の進み具合については、年度ごとに進捗管理を行い、その結果について本推進委員会に報告するほか、市長が本部長となる行政改革推進本部でも状況について報告することとしており、十分な進捗を図る体制となっている。

○P9の「①-9 観光収入の確保」はどこに入る収入か。この取組は収入よりも支出のほうが大きくなるのではないか。

⇒市の施設だけでなく市民や事業者の方の収入も含んでいるが、そういった収入については数値化が難しいため、市に訪れ交流してくれる人の数を目標としている。また、そうした人が増えることによって地域が活性化し、ひいてはそれが税収の増加に繋がるといった観点から、行政改革の取組として位置づけている。

○年度ごとの取組で「前年度の取組内容を検証し必要な措置を講じる」とあるが、後ろ向きな取組内容ではないのか。

⇒基本的には初年度に取り組んだものを検証し、さらに良くしていくという意味合いが含まれており、何に取り組んだのかということの主眼点に置いている。

○P18の「人事評価制度の導入」については、デメリットの部分もあるため慎重な導入を検討していただきたい。

◆行政改革に関する提言書(案)について

提言書(案)の構成や内容について説明。

◆質疑・応答及び意見交換(○:質問 ⇒:回答 ◎:意見・提案)

○P3の(3)の表題については、地方創生という文言を加えてはどうか。さらに、雇用創出のための産業振興策や観光資源への具体的取組といったことを加えてはどうか。例を挙げると、竹の有効活用や第一次産業の6次産業化、観光宿泊者等の増加といったものである。

⇒可能な限り意見を取り入れた形で修正させていただく。

◎国の補助を使い、竹の有効活用することで新たな雇用が生まれるのではないか。

◆その他

◎本委員会については、もっと分かりやすい情報と市の本音の部分の課題を提供していただければより良い会議になるのではないかと感じた。

◎市が本当に良くなるように頑張してほしいということが私達の気持ちである。また、市としてはここまで頑張ったというものをもっと示していただければ、より前向きに市が良くなるための話ができるのではないかと思いますので、これからの行政改革のあり方に期待したい。